

保護者様



園だより

平成29年7月24日

阿賀野市立京ヶ瀬幼稚園
園長 小内 清美

1学期の終業式を今日無事に迎えることができました。4月に新入園児15名の友達を迎え、43名で29年度をスタートしたのが、つい先日のように思われます。

皆様の幼稚園に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。

3歳児さんは入園当初、朝の挨拶も十分にできず、話しかけても返答することも思うようにできなかった子もいました。

今では友達のすることに関心を持ち、かかわることの楽しさも感じて、友達の様子を見たり、遊びに誘い合ったりと、幼稚園生活に慣れ自分を出して遊ぶ姿が見られようになりました。なによりも「せんせいだ〜いすき」の声が嬉しいですね。

4歳児さんは、友だちとのかかわりを楽しみながら、自分を出しきって遊んでいます。友達とのおしゃべりや遊びなど、お互いに楽しいと感じることが増えてくる分、トラブルも多くなってきました。自分の思いを友達に、思うように伝える事ができずにいる様子が見られます。ですが、このトラブルが大切な時期です。トラブルの中から自分の思いを言葉にして、伝え合う体験をこれからもたくさんしていくことと思います。

5歳児さんは、友達との遊びの中でより楽しむための相談をし、友達が何をしたいのか、気持ちを少しずつ考えてあげられる姿が見られるようになってきました。担任や友達の前で話しをする機会や、お家の皆さんに伝える『お口のお手紙』も増えてきて、言葉で伝える体験が多くなってきました。言葉のおもしろさや上手く伝えられない難しさも感じている子どもたちです。遊びの中で、人とかかわりに必要な言葉を習得していました。

つよくてやさしいスキンシップ

手軽に情報を収集発信できる便利な時代になりましたが、大人も子どもも直接人と関わる機会が減り、人と関わる力が弱くなっているのでしょうか。新潟県内でも、中学生や高校生が自分で自分の命を絶ってしまうという悲しい事件が発生しました。望み望まれて生まれてきた大切な命です。もうちょっと心が強くて、家族に話すことができたらそんなことにはならなかったんじゃないのかなと思うと本当に悲しくなります。

抱っこをし、身体を接触させることは子どもの安心の原点であり健全な成長を遂げる上で非常に重要です。子どもの成長を促す成長ホルモンや、神経成長因子、免疫力を高める物質、心の安定に寄与する神経ホルモンや神経伝達物質の分泌を活性化すると言われています。よく抱っこされた子は、甘えん坊で一見弱々しくみえますが、実は強くたくましく育ち、その影響は大人になってからも持続すると言われています。

明日からのお休み、いっぱい抱っこをしてあげてください。いっぱい愛情をかけてあげてください。強くて優しい素敵な人を育てましょう。

2学期もいろいろな遊びを取り入れ保育を進めていきたいと思っております。

また、祖父母参観・運動会・ふれあいまつりと大きな行事もあります。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。